

2 . 調査方法

第 1 年次現地調査は、平成 14 年 1 月 31 日～3 月 12 日までの期間に、全地域の地質概査（面積 1,100km²、ルート長 500km）及び既存コアの観察(4,000m)が実施された。

第 2 年次現地調査は、平成 14 年 9 月 16 日～11 月 26 日までの期間に、アウロラ地域の地質・地化学調査（面積 65km²、試料数 365）、サンチャゴサリナス区域における地質精査（面積 5km²）及び構造ボーリング 3 孔（総掘進長 850m）さらにランチョ・ピエホ地域における地質・地化学調査（面積 20km²、試料数 81）が実施された。

第 3 年次現地調査は、平成 15 年 7 月 21 日～11 月 14 日までの期間に、アウロラ地区のサンチャゴサリナス区域におけるボーリング調査 2 孔（総掘進長 465.5m）、カピレ区域における地質精査（4km²）とボーリング調査 2 孔（総掘進長 600m）、ラカンパーナ区域における地質精査（4km²）とボーリング調査 2 孔（総掘進長 400m）を実施した。

調査数量、内容は表 1～2 に、また調査の流れを調査フロ - シート及び鉱床有望地区抽出フロ - シート図 2、図 3 に示した。